

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2013年8月27日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

人間らしい生活と労働の保障を！



反貧困全国キャラバン in 札幌

北海道・札幌市へ要請 宣伝や講演会

8月23日、釧路からはじまった「反貧困全国キャラバン2013」は、8月24日（土）～26日（月）札幌で活動しました。24日は「子どもの貧困」ワークショップ、26日には、大通公園、チカホでの宣伝、「貧困問題ミニ講座」 in チカホ、北海道や札幌市への要請行動などが行われました。



子どもの貧困について、松本北大教授が講演

「子どもの貧困」ワークショップでは、松本伊智朗北大教授が『子どもの貧困』と『貧困』と題して講演、その後、参加者でワークショップを行い、どうしたら貧困をなくせるのか。何ができるのか、討論しました。

松本氏は、「子どもの貧困は、特別な貧困ではない」とし「貧困は社会で生きていくために必要なものを欠いている状態」と説明。「現在の貧困は19世紀初めとはちがひ、貧困ための施策がある中で生じています。同じ先進国でも貧困率が違うのは貧困をなくすための政策の違いです」と、日本の政策を拡充させる必要性に言及しました。一方で、子どもの貧困は、思想信条を問わず多くの方に関心を持たれるが、「子どもの貧困を強調すると、親の責任を問う、メダルの表裏になりかねない」ので気をつける必要があることや、子育てにお金がかからない社会にしていくことが必要と強調しました。



(札幌市へ要請、懇談)



(北海道へ要請、懇談)

要請行動と宣伝

札幌市・北海道へ生活保護基準の引き下げ撤回など貧困をなくすとりくみ要請しました。1カ月以内に回答をしてもらうことになりました。



(大通宣伝 キャラバンカー)

連続・貧困問題ミニ講演



労働組合をつくり労働条件を改善させた労働者たちもあいさつ。

貧困問題ミニ講演は、8講座9人が熱弁。たくさんの方が視聴しました（テーマは、障害者、奨学金、DV、ひとり親、公契約条例、生活保護、自立支援ホーム、ブラック企業問題と知らないで損する団結権など）。

生活保護不服審査請求 900件超 (8/28現在)

生活保護支給日宣伝 各地で宣伝を (8月29日10時～ 札幌西区・琴似ダイエー店前)
「生活保護基準引き下げやめよ！ 全道1千件 審査請求提出集会」

9月17日13時30分から エルプラザホール / 9月20日13時～ 自治労会館4階ホール